



愛知目標の中間評価（2014年10月の生物多様性条約COP12で採択）
→現在の施策を続けるだけでは多くの目標達成が困難で、
主流化を始めとした追加的な対応が目標達成のために必須とされた。

主要な愛知目標・SDGsの達成に向けた検討

資源動員戦略

資源動員目標達成に向けた調査・分析
福利に着目した資源動員の促進

遺伝資源へのアクセスとその利用から生ずる
利益の公正かつ衡平な配分（ABS）

名古屋議定書国内措置の実施
ABS指針の実施

生物多様性・生態系サービスの価値の
国家勘定・企業会計等への算入

自然資本会計に関する検討・推進

条約関連会合（保護地域、海洋、外来種等）

条約関連会合への
専門家派遣

日中韓生物多様性政策対話

日中韓の協力醸成

愛知目標の達成に向けた国内の施策を加速化させるとともに、
2020年以降の新たな枠組みの検討に向け積極的に貢献